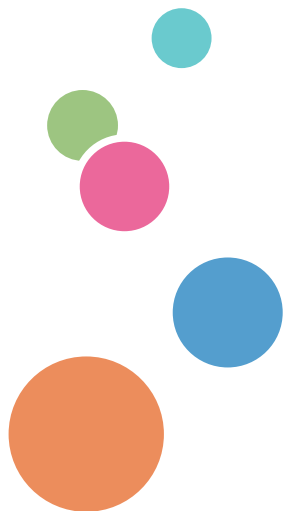




# 使用説明書

安全上のご注意	1
はじめに	2
基本的な操作	3
各種設定のしかた	4
LAN制御機能	5
故障かな…と思ったときは	6
付録	7



ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。  
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。



<b>もくじ</b> .....	<b>1</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>3</b>
この本の読みかた.....	3
正しくお使いいただくために.....	3
本書についてのご注意.....	3
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>4</b>
本機で使用している安全記号.....	4
表示について.....	5
守っていただきたいこと.....	6
安全に関する本機の表示.....	20
警告・注意のラベル位置について.....	20
電源スイッチの記号.....	21
<b>使用上のご注意</b> .....	<b>22</b>
本製品の取り扱いに関すること.....	22
お手入れに関すること.....	22
映像の著作権について.....	23
3D映像の視聴について.....	23
<b>法律上の禁止事項</b> .....	<b>24</b>
海外輸出規制.....	24
電波、高調波電流に関する事項.....	24
電波障害についての注意事項.....	24
高調波電流規格についての事項.....	24
廃棄について.....	24
<b>はじめに</b> .....	<b>25</b>
同梱品の確認.....	25
本体各部の名称.....	26
入出力端子.....	27
本体操作部と表示部.....	28
リモコン.....	29
リモコン電池を入れる.....	32
リモコンの有効操作範囲.....	33
<b>基本操作</b> .....	<b>34</b>
接続する.....	34
コンピュータ/パソコン/AV機器/ その他のデバイスへの接続.....	34
HDBaseT の接続.....	35

電源の入れかたと切りかた.....	36
電源を入れる.....	36
電源を切る.....	37
インジケーターによる警告表示.....	38
<b>投写映像を調整する</b> .....	<b>39</b>
投写映像の位置を調整する.....	39
画面の大きさとピントを調整する.....	39
投写映像の位置をレンズシフトで調整する.....	39
投写映像の大きさを調整する.....	40
<b>ユーザー設定</b> .....	<b>42</b>
メニューを使う.....	42
操作のしかた.....	42
映像調整.....	43
表示設定.....	46
初期設定.....	49
音声.....	52
オプション.....	53
3D.....	55
<b>LAN 制御</b> .....	<b>56</b>
ウェブブラウザで本機を制御する.....	56
本機へ接続する.....	56
クレストロン.....	56
クレストロン ツール (Crestron Tools).....	57
クレストロン 情報 (Crestron Info).....	57
<b>プロジェクター管理ユーティリティ</b> <b>ティで本機を制御する</b> .....	<b>58</b>
プロジェクター管理ユーティリティ について.....	58
プロジェクター管理ユーティリティ をインストールする.....	58
プロジェクターを登録する.....	59
プロジェクター管理ユーティリティ でプロジェクターを制御する.....	61
<b>故障かな・・・と思ったときは</b> .....	<b>62</b>

# もくじ

<b>付録</b> .....	<b>66</b>
対応信号の一覧表.....	66
端子の形態.....	71
端子：コンピューター入力 (Mini D-sub 15 ピン)	
[モニター出力].....	71
端子：PC 制御 (D-sub 9 ピン) (オス) .....	71
仕様.....	72
外形寸法.....	73
商標.....	74



## この本の読みかた

### 正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

### 本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とおお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。






本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

# 安全上のご注意

## 安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

### 本機で使用している安全記号

	一般注意
	一般表示
	一般禁止
	分解禁止
	設置接続すること
	濡れた手で接触禁止
	電源プラグをコンセントから 抜く
	電源コードを引っ張らない
	子供の接触禁止
	感電注意
	高温注意
	接触禁止
	レーザー注意

## 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例

安全表示の例です。



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
● の中に具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

# 安全上のご注意

## 守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

### 接地接続について守っていただきたいこと

#### ⚠ 警告

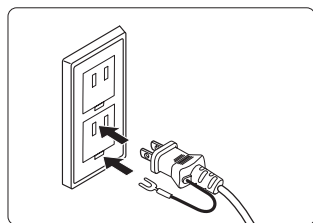


- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子に
- できない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりで。

- コンセントのアース端子
- 接地工事 (D 種) を行っているアース線

1. 電源インジケータが消灯していることを確認します。
2. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。



### 使用環境について守っていただきたいこと

#### ⚠ 警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、けがの原因となります。

## ⚠ 警告



- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- この機器の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

## ⚠ 注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

## ⚠ 注意



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用および設置をしないでください。火災や感電の原因となります。

# 安全上のご注意

## ⚠注意



- 排気口に手や顔を近づけないでください。排気口から熱風が出るため、やけどや事故の原因になります。

## ⚠注意



- 紙や布などのやわらかいものの上で本機を使用しないでください。吸気口に吸着して内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

## ⚠注意



- 本機を風通しの悪い場所には設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

## ⚠注意



- 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、設置・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起こり、火災の原因となることがあります。

## ⚠注意



- 使用中は排気口近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。

## ⚠注意



- 本機の吸気口または排気口をふさがしないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

# 安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠ 警告



- 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外のコンセントを使用すると、火災・感電の原因となります。

## ⚠ 警告



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときは使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついているときはサービス実施店に交換を依頼してください。

## ⚠ 警告



- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 延長コードやテーブルタップを使用するときは、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

## ⚠ 警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

## ⚠ 注意



- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。



# 安全上のご注意

## ⚠ 注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ⚠ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

## ⚠ 注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## ⚠ 注意



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠ 警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

## ⚠ 警告



- ポリ袋の WARNING 表示の意味は次のとおりです。
- 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

## ⚠ 警告



- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意



- 電源オフ直後の本機(特に排気口の周りなど)は高温になっていますので触らないようにしてください。やけどの原因になることがあります。

## ⚠ 注意



- 動作時にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。

# 安全上のご注意

## ⚠注意



- 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せたりしないでください。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。

## ⚠注意



- 音声が出力される前に音量を上げすぎないでください。また、電源を切る前には音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。

## ⚠注意



- 本機を長時間連続して(10時間/日を超えて)使用する場合は、あらかじめテクニカルコールセンターにご相談ください。

## 機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

## ⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

## ⚠注意



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

# 安全上のご注意

## 天吊り・壁掛け設置について守っていただきたいこと

### ⚠ 警告



- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

### ⚠ 警告



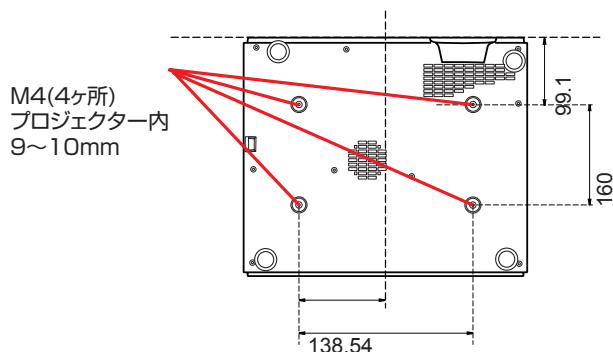
- 本機の天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

## お客様へ

- 本機を天吊り・壁掛け設置するときは、お客様ご自身でせず販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

## 設置をされるかたへ

- 本機の質量（約 7.8kg）に耐えられる強度の金具を使用してください。
- 本機と金具の総質量に耐えられる強度の場所だけに設置してください。
- 金具の取り付けには、M4 ねじ（プロジェクター内 9～10mm）4 本を使用してください。
- 壁掛け・天吊り用のねじ穴は、本機底面の次の 4 か所にあります。金具の取り付けにはすべてのねじ穴を使用して、ねじがしっかりと締まっているか確認してください。



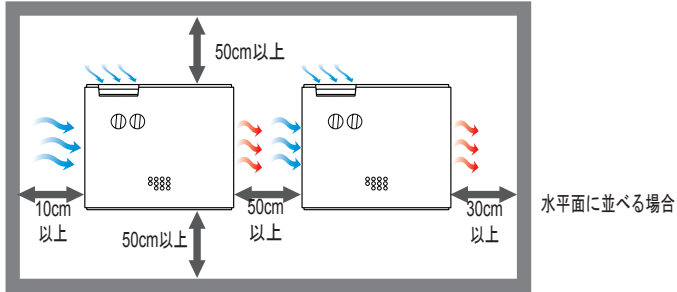
# 安全上のご注意

設置について守っていただきたいこと

## ⚠️ 注意



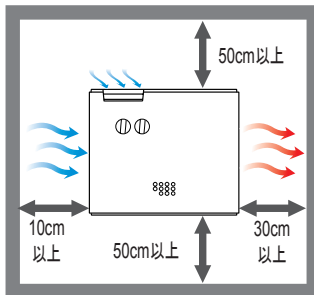
- 本機を並べて配置する場合プロジェクターを50cm以上離して設置してください。また、吸気口側を10cm以上、排気口側を30cm以上、壁との間隔を離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



## ⚠️ 注意



- 本機を360°設置をする場合、吸気口側を10cm以上、排気口側を30cm以上、壁との間隔を離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



# 安全上のご注意

## ⚠ 警告



- 360度設置、縦置き設置を行う場合は本機の設置は、正しく固定されていないと落下などによる事故の原因となります。販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

## 電池について守っていただきたいこと

### ⚠ 警告



- 電池は、次の注意事項を守って安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
  - 指定された電池以外は使用しないでください。
  - 極性（+、-）を正しく入れてください。
  - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
  - +極と-極を針金などで接続しないでください。
  - 使い切った電池はリモコンからすぐに取り出してください。
  - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

### ⚠ 警告



- 電池は、子供の手に触れないようにしてください。リモコンの電池カバーがはずれやすいときは、リモコンの使用をやめ、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って電池を飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

## 電池から液がもれたときの対処

- もれた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
- もれた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。

## 電池を廃棄するとき

- 電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

# 安全上のご注意

## 移動について守っていただきたいこと

### ⚠注意



- 本機を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認してください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

## レーザー光源について守っていただきたいこと

### ⚠警告



- 光源が点灯中はレンズおよび通風口をのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。特にお子様のいる環境では注意してください。

### ⚠注意



- この製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に指定された以外のカバーやねじは外さないでください。また、本機を分解・改造しないでください。危険なレーザー放射の被ばくの原因になります。

### ⚠注意



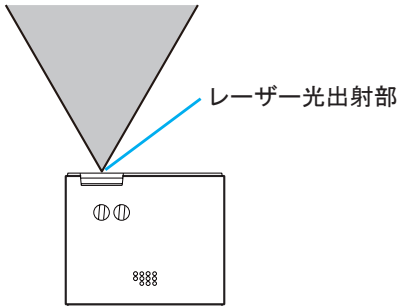
- 光源点灯中に投写光をさえぎらないでください。投写光を長時間さえぎると投写光の当たった部分が高温になり、さえぎっている物に変質・変形したり、やけどや火災の原因となることがあります。また、反射した光で投写窓が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を一時的に中断するときはAVミュート機能をお使いください。また、長時間にわたって中断したいときは本機の電源を切ってください。



# 安全上のご注意

## レーザー光源の注意

安全基準 JIS C6802:2014、IEC 60825-1 : 2014 のクラス1 レーザー製品で、IEC62471-5 : 2015 のリスクグループ2の商品です。



## ⚠ 警告



- このプロジェクターは内部にレーザーモジュールがあります。今製品から出力される光は使用状況によっては強力な光となり、目に悪影響を及ぼす恐れがありますので、光源を直視しないでください。

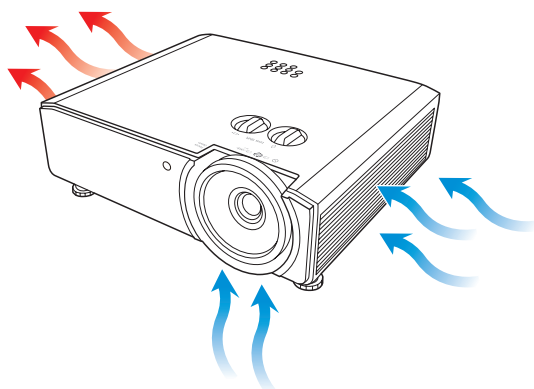
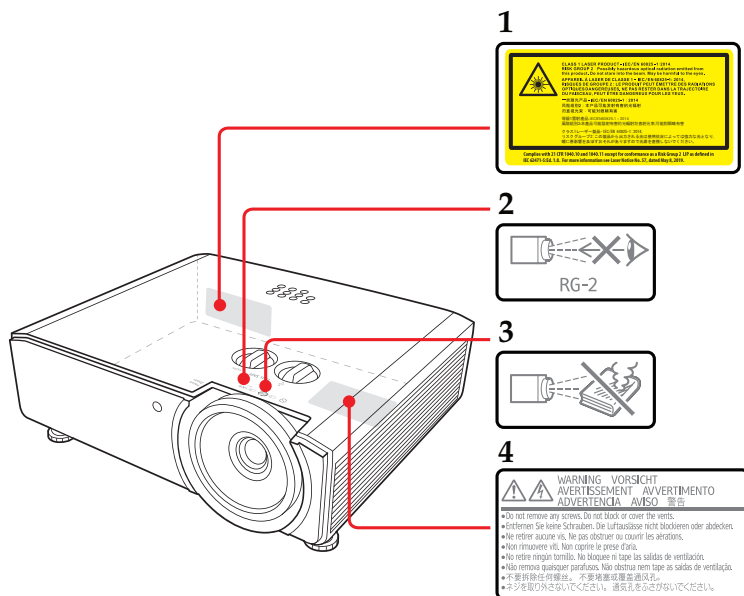
# 安全上のご注意

## 安全に関する本機の表示

本機に表示されている安全に関する情報です。

## 警告・注意のラベル位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠警告**、**⚠注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。



# 安全上のご注意



- 制御・調整、または本説明書に記述されている以外の手順を行うと、有害な放射線をあびる可能性があります。

1. クラス1レーザー製品（リスクグループ2） この製品から出力される光は使用状況によっては強力な光となり目に悪影響を及ぼす可能性がありますので光源を直視しないでください。
2. 動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。
3. 動作時にレンズの前に物を置かないこと。  
物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。  
映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体の AV ミュートをお使いください。
4. ネジを取り外さないでください。通気口をふさがないでください。

## 電源スイッチの記号

本機のスイッチに記されている記号の意味は以下のとおりです。

- : オン/スタンバイの切り替え

# 安全上のご注意

## 使用上のお願い

### 本製品の取り扱いに関すること

- 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- 強力な磁場を発生する機器の近くで使用しないでください。
- 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
  - 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
  - 輸送する場合  
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
    - 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
    - お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
    - 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
    - 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。

### お手入れに関すること

- お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 排気口や吸気口にたまったほこりなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の空気の流れが悪くなり、故障の原因になることがあります。

## 映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- ・営利目的で映像などを投写する行為
- ・営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- ・営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

## 3D映像の視聴について

3Dメガネを使用して本機で映像を視聴するときは、次の事項に注意してください。

- ・3D映像を視聴するには3Dメガネが必要です。本機は3Dメガネとの同期方式としてDLP Link方式を採用しています。DLP Link対応3Dメガネを使用してください。
- ・3D映像の見えかたには個人差があります。
- ・3D映像を視聴する以外の目的で3Dメガネを使用しないでください。
- ・3Dメガネの説明書をよく読んでから使用してください。また、視聴する3D映像ソフトの説明書も確認してください。
- ・3D映像を長時間連続して視聴しないでください。1時間視聴したら、15分以上休憩を取ることをお勧めします。
- ・3D映像の視聴中に体調に変化を感じたときは、すぐに視聴を中止してください。しばらくしても異常が直らないときは医師に相談してください。
- ・蛍光灯やLED照明などを使用している部屋で視聴すると、部屋全体の明かりがちらついて見えることがあります。そのときは、ちらつきが消えるまで明かりを暗くするか、明かりを消して視聴してください。
- ・光感受性発作を起こしたことがある、または家族に該当する人がいるときは、3D映像を視聴する前に医師に相談してください。
- ・3D映像を視聴するときは、スクリーンの正面に座り、左右の目の高さが同じになるような姿勢で視聴してください。
- ・スクリーンに近い距離で3D映像を視聴すると目に負担がかかります。投写画面の高さの3倍程度スクリーンから離れて視聴してください。
- ・子供が3Dメガネを使用するときは、必ず大人の監督のもとに使用してください。
- ・3D映像の視聴年齢は6歳以上を目安にしてください。健全な視覚発達に影響を及ぼす可能性があります。使用する前に医師に相談することをお勧めします。

# 安全上のご注意

## 法律上の禁止事項

### 海外輸出規制

安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国により異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

## 電波、高調波電流に関する事項

### 電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

### 高調波電流規格についての事項

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

### 廃棄について

本機または使用済み電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

## 同梱品の確認

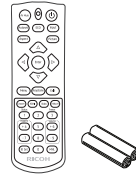
本製品には以下の同梱品が含まれます。ご使用前に同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店に連絡してください。

### 補足

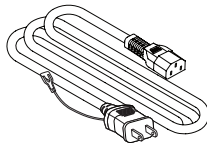
(\*1) 付属のCD-ROMにはPDF形式のユーザーマニュアルとプロジェクター管理ユーティリティが収録されています。



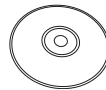
プロジェクター



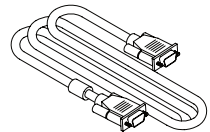
リモコン (電池付き、32 ページを参照)



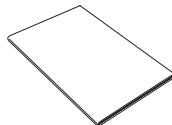
電源コード



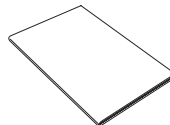
CD-ROM(\*1)



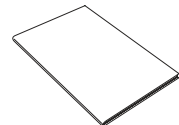
RGB ケーブル



はじめにお読みください



保証書

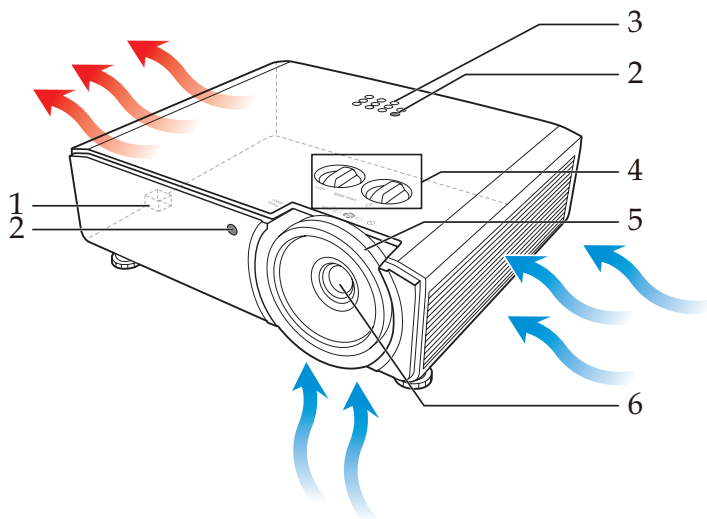


マイバンク & QA登録票



リコーテクニカルコール  
センターシール

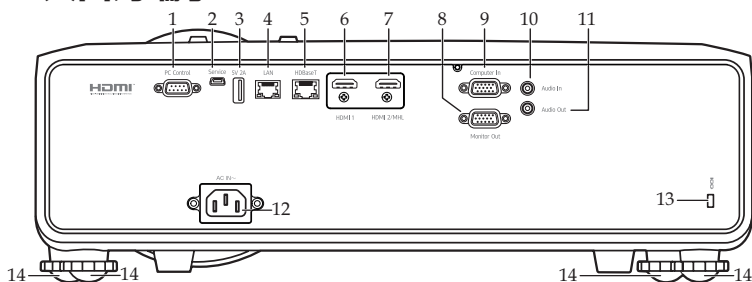
## 本体各部の名称



- 
1. セキュリティーワイヤー固定部
  2. リモコン受光部
  3. 本体操作部
  4. レンズシフトダイヤル
  5. フォーカスおよびズームリング
  6. レンズ
-



## 入出力端子

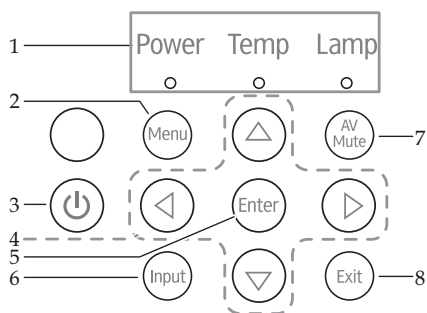


## 補足

❖ MHLバージョン2、充電電力 5V @ 1A に対応しています。

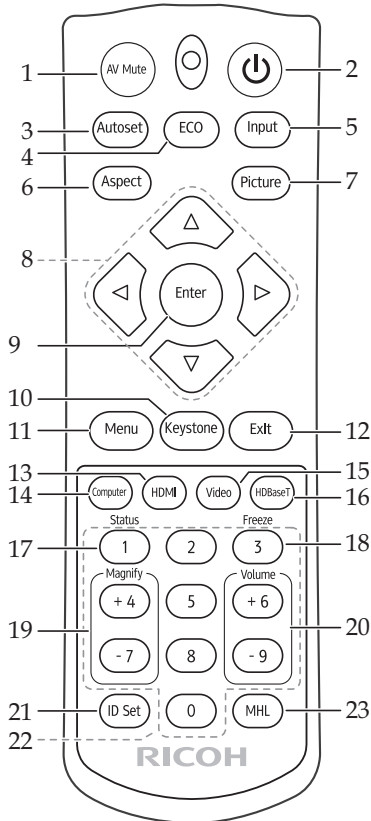
1. PC コントロール入力端子
2. サービス端子
3. USB-A 端子 (5V 1.5A 出力)
4. LAN 端子
5. HDBaseT 端子
6. HDMI 1 端子
7. HDMI 2/MHL 端子
8. モニター出力端子
9. コンピューター入力端子
10. 音声入力端子
11. 音声出力端子
12. AC入力ソケット
13. 盗難防止用ロック穴
14. アジャスタブルフット

## 本体操作部と表示部



1	インジケータ LED	「症状：インジケータの点灯によるメッセージ」64 ページを参照してください。
2	Menu (メニュー)	調整用のメニューを表示したり、メニューを閉じます。(42 ページを参照)
3	電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(36 ページ~37 ページを参照)
4	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶ を使用して項目を選択するか、選択した項目を調節します。
5	Enter (決定)	設定を選択または確定します。
6	Input (入力)	入力信号を選択します。
7	AV Mute	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すともとに戻ります。
8	Exit (戻る)	選択をキャンセルするか、前のページに戻ります。

## リモコン



1	AV Mute	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すもとに戻ります。
2	電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(36 ページ～ 37 ページを参照)。
3	Autoset (自動設定)	プロジェクターを自動的に入力信号と同期します。
4	ECO (エコ)	「レーザー電力モード」メニューを表示します。

# はじめに

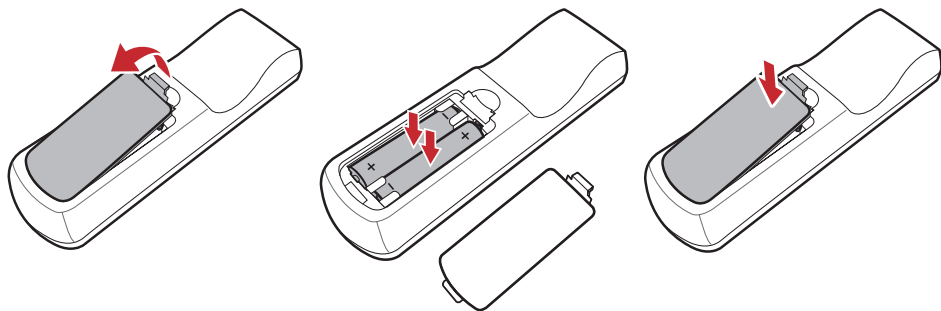
5	Input (入力)	「入力」を押して、希望の入力信号を選択してください。
6	Aspect (アスペクト)	この機能を使用して、希望するアスペクトを選択します。
7	Picture (画像)	映像モード(Picture) モードを選択します。
8	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶ を使用して項目を選択するか、選択した項目を調節します。
9	Enter (決定)	設定を選択または確定します。
10	Keystone (台形補正)	「台形補正」メニューを表示します。
11	Menu (メニュー)	調整用のメニューを表示したり、メニューを閉じます。(42 ページを参照)
12	Exit (戻る)	選択をキャンセルするか、前のページに戻ります。
13	HDMI	映像信号を HDMI1 入力または HDMI2/MHL 入力のどちらかに切り替えます。
14	Computer (コンピューター)	映像信号をコンピューター 入力に切り替えます。
15	Video (ビデオ)	本機では使用しません。
16	HDBaseT	映像信号をHDBaseTに切り替えます。
17	Status (状態)	「情報」メニューを表示します。
18	Freeze (フリーズ)	映像を静止します。もう一度押すと元に戻ります。
19	Magnify +/ Magnify - (拡大 +/ 拡大 -)	プロジェクターの表示を拡大/ 縮小します。

- 
- |    |  |                 |
|----|--|-----------------|
| 20 | Volume +/<br>Volume<br>- (音量 +/<br>音量 -) | スピーカーの音量を調節します。 |
|----|--|-----------------|
- 
- |    |                   |  |
|----|-------------------|--|
| 21 | ID Set (ID<br>設定) | このリモコン IDを設定します。リモコンのインジケータが 2 回点滅するまで、「ID 設定」と指定された数字 (0-7) ボタンを、同時に 5 秒間長押しします。一致する ID セットのプロジェクトターを「オプション」>「制御」>「プロジェクトター ID」メニューから制御できます。<br>IDを「0」にリセットするときは、リモコンの点滅が停止するまで「ID 設定」を 5 秒間長押しします。 |
|----|-------------------|--|
- 
- |    |          |             |
|----|----------|-------------|
| 22 | 数字 (0~9) | 数字入力に使用します。 |
|----|----------|-------------|
- 
- |    |     |   |
|----|-----|---|
| 23 | MHL | MHL 入力接続中に本ボタンを押すと MHL コントロールモードに入ります。リモコンの4方向選択キー等を用いて MHL 機器のコントロールができます。 |
|----|-----|---|
-

# はじめに

## リモコン電池を入れる

- 1 クリップを押して電池カバーを外します。
- 2 新しい電池を入れます（単4電池）。電池の向き（+/-）が正しいか確認してください。
- 3 電池カバーを閉じて、カチッと音がする位置まで押してください。違う種類の電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。



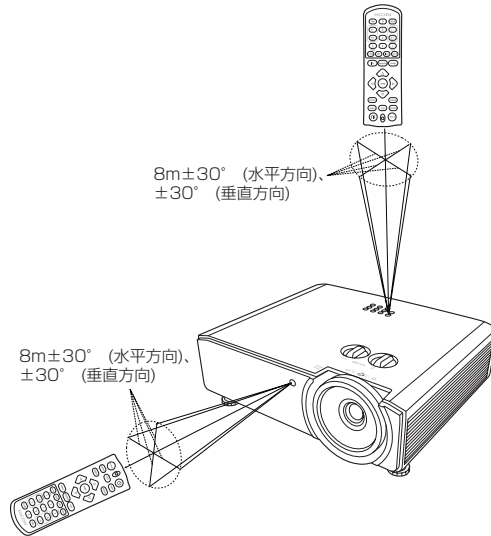
安全に使用するため、以下のことに注意してください：

- 電池を火の中に投げたりしないでください。
- 電池を飲み込んだりしないでください。火傷の恐れがあります。
- 新品、使用済みに関わらず、電池は子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 詳細については17ページを参照してください。

## リモコンの有効操作範囲

ボタンを押す時には、リモコンをプロジェクター（リモコン受光部）に向けてください。

リモコンで操作できる最大の範囲は、プロジェクター前面または上部から約8メートル、 $\pm 30^\circ$ （水平方向）、 $\pm 30^\circ$ （垂直方向）です。

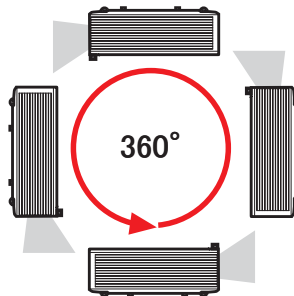


## 360度設置について

本機は、360度方向の投影が可能です。

本機の質量に耐えられる強度の金具を使用してください。

また、プロジェクターがしっかりと固定されていることを確認してください。



# 基本的な操作

## 補足

❖ 電源プラグがきちんと本機のAC INソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

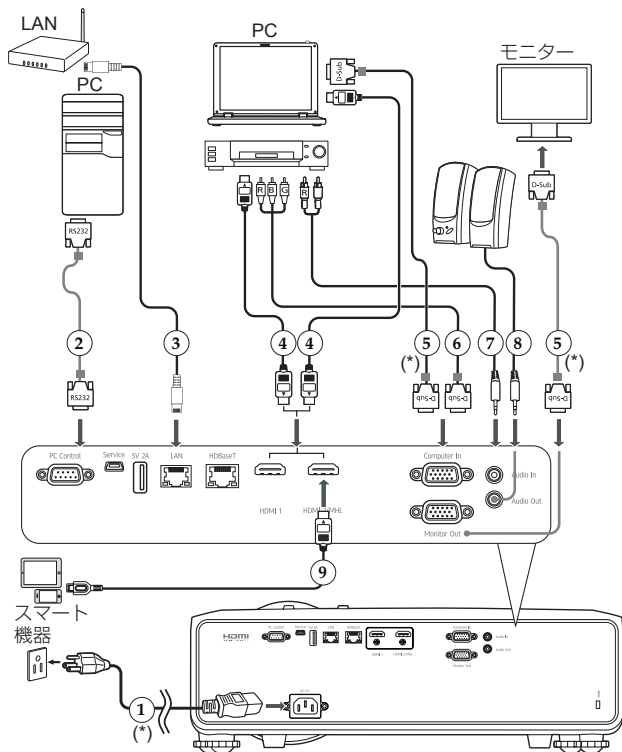
❖ 電源プラグは、本機を設置する場所の最寄りのコンセントに差し込み、常に手の届く状態にしておいてください。

❖ 信号を正しく表示するために、接続するコンピューターの表示モード（解像度およびリフレッシュレート）が、本機が対応しているものであることを確認してください。（66～70 ページ参照）

❖ (\*) 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

## 接続する

### コンピュータ/パソコン/AV機器/その他のデバイスへの接続

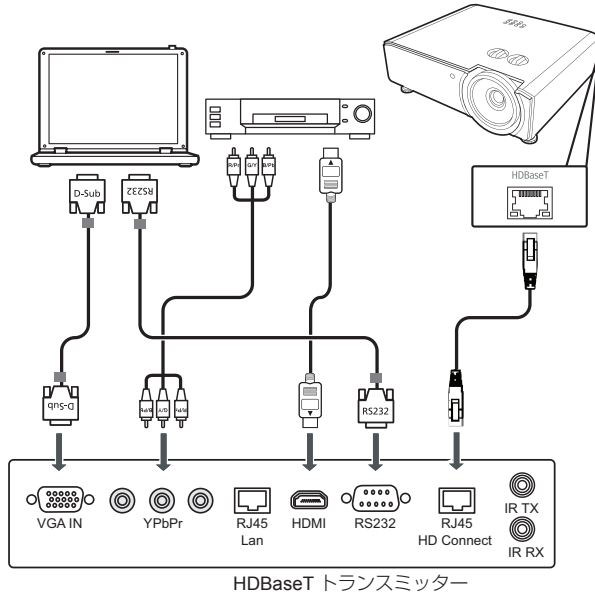


- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 電源コード (付属)   | 6. コンポーネントRGB 変換ケーブル |
| 2. RS232 ケーブル   | 7. オーディオ L/R ケーブル    |
| 3. LAN ケーブル     | 8. オーディオケーブル         |
| 4. HDMI ケーブル    | 9. HDMI (MHL) ケーブル   |
| 5. VGAケーブル (付属) |                      |



## HDBaseT の接続

HDBaseT は、家電製品向けの接続規格であり、非圧縮のHD マルチメディアコンテンツを通信できます。HDBaseT 送信機（別売り）を使用すると、HDBaseT 接続で複数の信号をプロジェクターに接続できるようになります。



### 補足

❖ 図は参照用であり、実際のレイアウトは異なる場合があります。

- ❖ CAT5e 以上、最大100mのシールド付き LANケーブルをお使いください。
- ❖ 最大通信距離は100mですが、場合によってはこれよりも短くなる場合があります。
- ❖ LANケーブルは渦巻き状、または束ねた状態で使用しないでください。
- ❖ 投写中に LANケーブルを取り外しすると、ノイズが生じる場合があります。
- ❖ 市販されているすべてのHDBaseTトランスミッターとの接続が保証されている訳ではありません。
- ❖ HDBaseTトランスミッターによっては正しく投写されないことがあります。
- ❖ スタンバイモードで、HDBaseT 経由の RS232 制御を使用する場合は、初期設定>スタンバイ設定>ネットワーク>メニューの「入」を設定していただき 50 ページを参照)

# 基本的な操作

## 電源の入れかたと切りかた


### 電源を入れる

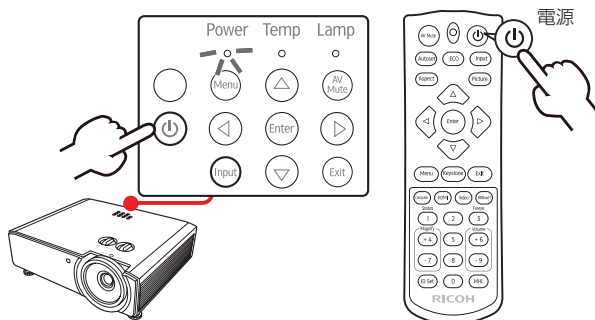


警告:光源点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。

注意:本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

注意:排気口の近くや本体の下に手や顔を近づけたり、物を置かないでください。けがや機器の故障の原因となります。

1. 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。電源インジケータがオレンジ色に変わります。
2. 制御パネルまたはリモコンの  ボタンを押して、光源をオンにします。電源インジケータが緑色に点滅します。起動画面が表示され、電源インジケータが緑色に点灯します。
3. 入力（コンピューター、パソコン、ビデオプレーヤーなど）をオンにします。プロジェクターが入力を自動的に検出します。  
「自動入力検索」が「オン」に設定されているか確認してください。






### 補足

❖ 複数の入力に同時接続する場合は、コントロールパネルの[入力]を押すか、リモコン上にある必要な入力ボタンを押して入力を切り替えてください。

### 補足

❖ 最初にプロジェクターの電源を入れてから、信号入力をオンにしてください。

## 電源を切る

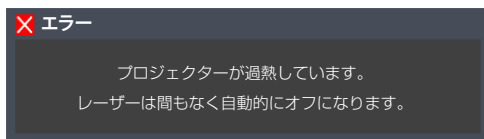
1.  ボタンを押すと、オンスクリーン表示にメッセージが表示されます（電源オフメッセージが「入」に設定されている場合）。
2. もう一度  ボタンを押すと、プロジェクターの光源がオフになります。
3. 冷却サイクルのため、冷却ファンは約5秒ほど作動し続け、電源インジケータが赤く点滅します。冷却後は、ライトが点滅しなくなり、プロジェクターはスタンバイモードに入ります。  
プロジェクターの電源を再び入れる場合は、冷却サイクルが完了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。スタンバイモードに入ったら、制御パネルまたはリモコンの  ボタンを押して、プロジェクターを再起動してください。
4. 電源コンセントとプロジェクターから、電源コードを外します。

# 基本的な操作

## インジケーターによる警告表示

電源、温度のインジケーターの表示により本機の状態を知る事ができます。警告を示す表示が出た場合は、すぐに本機の使用を止めて、電源コードをコンセントから抜き、サービス実施店に連絡してください。

- ❖ 「Power」インジケーターが緑色に点灯し、「Temp」インジケーターが赤色に点灯する場合は、プロジェクターが過熱しています。プロジェクターは自動的にシャットダウンします。



- ❖ 「Power」インジケーターが赤く点灯し、「Temp」インジケーターが点灯している場合は、ファンエラーを示しています。すぐに本機の使用を止めて、電源コードをコンセントから抜き、リコーテクニカルコールセンターに連絡してください。

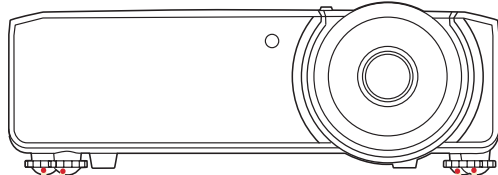
警告インジケーターの詳細については、「症状：インジケーターの点灯によるメッセージ」64 ページを参照してください。

## 投写映像を調整する

### 投写映像の位置を調整する

本機のアジャスタブルフットを調整して、投写映像の上下位置を調整できます。

1. 調整したいアジャスタブルフットの位置を確認します。
2. アジャスタブルフットの調整リングを時計回りに回すとプロジェクターの位置を高く、反時計回りに回すと低く調整できます。必要に応じて、残りのアジャスタブルフットを調整してください。



#### 補足

❖ アジャスタブルフットを回すと、プロジェクターを最大で1.9° 傾けることができます。



### 画面の大きさとピントを調整する

ズームイン・アウトするには、ズームリングを回します。画像のフォーカスを調整するには、画像がクリアになるまでフォーカスリングを左右に回してください。

### 投写映像の位置をレンズシフトで調整する

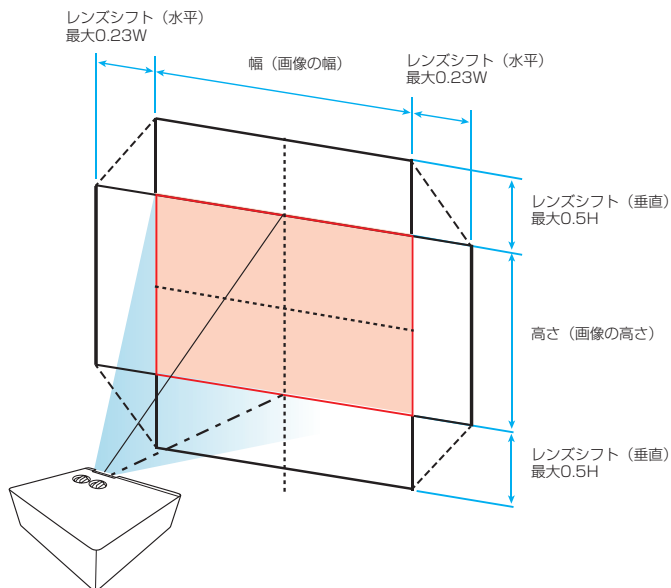
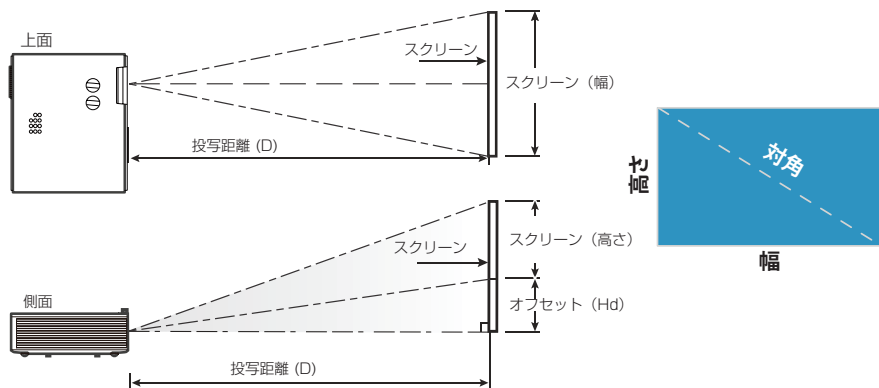
レンズをシフトするには：垂直/水平レンズシフトノブを回して、レンズをシフトします。

# 基本的な操作

## 投写映像の大きさを調整する

投写映像の大きさは、ズームと投写距離で調整します。  
投写できる映像の大きさ（対角長）は以下のとおりです。

1.75~9.34m (60~300型)



# 基本的な操作

## PJ WUL5970

画面サイズ (型) 16:10	画面サイズ 幅×高さ				投写距離 (D)		オフセット (Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(m)	
	幅	高さ	幅	高さ	広角	望遠	最小	最大
60	1.29	0.81	50.88	31.80	1.75	2.80	-0.81	0.00
70	1.51	0.94	59.36	37.10	2.04	3.27	-0.94	0.00
80	1.72	1.08	67.84	42.40	2.34	3.74	-1.08	0.00
90	1.94	1.21	76.32	47.70	2.63	4.20	-1.21	0.00
100	2.15	1.35	84.80	53.00	2.92	4.67	-1.35	0.00
110	2.37	1.48	93.28	58.30	3.21	5.14	-1.48	0.00
120	2.58	1.62	101.76	63.60	3.50	5.61	-1.62	0.00
130	2.80	1.75	110.24	68.90	3.80	6.07	-1.75	0.00
140	3.02	1.88	118.72	74.20	4.09	6.54	-1.88	0.00
150	3.23	2.02	127.20	79.50	4.38	7.01	-2.02	0.00
160	3.45	2.15	135.68	84.80	4.67	7.47	-2.15	0.00
170	3.66	2.29	144.16	90.10	4.96	7.94	-2.29	0.00
180	3.88	2.42	152.64	95.40	5.26	8.41	-2.42	0.00
190	4.09	2.56	161.12	100.70	5.55	8.88	-2.56	0.00
200	4.31	2.69	169.60	106.00	5.84	9.34	-2.69	0.00
250	5.38	3.37	212.00	132.50	7.30	-	-3.37	0.00
300	6.46	4.04	254.40	159.00	8.76	-	-4.04	0.00

# 各種設定のしかた

## メニューを使う

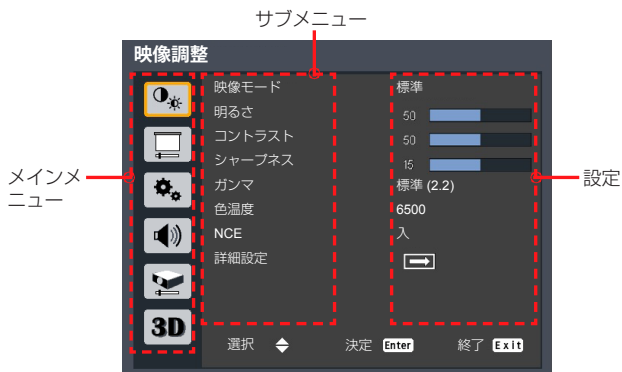
メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

### 操作のしかた

1. メニューを開くには、本体またはリモコンの[Menu]を押します。
2. メニューが表示されたら、▲または▼でメインメニューの項目のいずれかを選択します。調整したい項目が表示されたら、[Enter]を押してサブメニューに入ります。
3. ▲または▼でサブメニューの項目のいずれかを選択し、[Enter]を押して設定項目を表示します。設定を調整するには、◀▶または▲▼を使用します。
4. サブメニューで次に調整したい項目を選択して、前述の方法で設定を調整します。
5. 変更を確定するには、[Enter]または[Exit]を押します。直前に選択していたメニュー画面に戻ります。
6. 設定操作を終了するには、もう一度[Menu]を押します。メニューが閉じて、変更した設定が自動的に保存されます。

#### 補足

❖ 約10秒にわたりボタンが操作されなかった場合、メニューは自動的に閉じられます。







## 映像調整

### 映像モード

映像モードを選びます。▲ または ▼ で項目を選択します。

映像モード   高輝度   ビビッド   標準   sRGB   DICOM SIM.

- ▶ 高輝度: 明るさを重視したモードです。
- ▶ 標準: 明るさと色の再現性のバランスがとれたモードです。
- ▶ ビビッド: 色を強調したモードです。
- ▶ sRGB: sRGBに準拠したモードです。
- ▶ DICOM SIM.: DICOM規格に近似したモードです。

### 明るさ

映像の明るさを調整します。

明るさ   50

- ▶ ◀ で映像を暗くします。
- ▶ ▶ で映像を明るくします。

### コントラスト

映像の最も明るい部分と暗い部分の輝度の差を変更して、映像に含まれる黒と白の強さを調整することができます。

- ▶ ◀ でコントラストを弱くします。
- ▶ ▶ でコントラストを強くします。

# 各種設定のしかた

## シャープネス

映像のシャープネスを調整します。

- ▶ ◀ でシャープネスを弱くします。
- ▶ ▶ でシャープネスを強くします。

## ガンマ

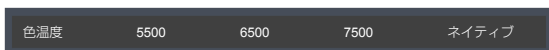
映像のガンマ調整を行います。

1.8 / 2.0 / 標準 (2.2) / 2.4 / Shine / DICOM SIM. から選択します。



## 色温度

5500 / 6500 / 7500 / ネイティブの中から色温度を選び、それに合わせて映像を調整します。5500では暖色系、7500では寒色系の色合いとなります。ネイティブを選ぶと明るさ優先の設定になります。



## NCE

この設定を入りにすることで、色を強調する事ができます。色の調整は、詳細設定のNCE設定で行います。

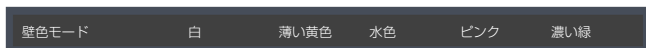


## 詳細設定

壁色モードとNCE設定ができます

- ▶ 壁色モード

白 / 薄い黄色 / 水色 / ピンク / 濃い緑の中から壁色を選び、それに合わせて映像を最適化します。



# 各種設定のしかた

## ▶ NCE 設定

映像のカラーバランスを調整します。



### - カラー：

◀や▶ を押して調整する色を選びます。

赤・緑・青・シアン・マゼンタ・イエロー・白から選びます。

- ・赤・緑・青・シアン・マゼンタ・イエローを選ぶと、色相、色の濃さ、ゲインを調整できます。
- ・白を選ぶと、赤、緑、青の色の強さを調整できます。

### <白以外のカラーでは>

- 色相：◀や▶ を押して色相を調整します。
- 色の濃さ：◀や▶ を押して色の濃さを調整します。
- ゲイン：◀や▶ を押してゲインを調整します。

### <カラーに白を選んだら>

- 赤：◀や▶ を押して赤の強さを調整します。
- 緑：◀や▶ を押して緑の強さを調整します。
- 青：◀や▶ を押して青の強さを調整します
- リセット：NCE設定を工場設定値に戻します。”はい”でリセットします。”いいえ”でNCE設定に戻ります。

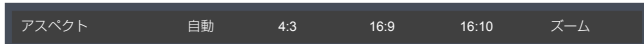
# 各種設定のしかた



## 表示設定

### アスペクト

画面のアスペクトを選択します。



- ▶ 自動: 適切な画面のアスペクトを自動的に選択します。入力信号が4:3の時はアスペクト4:3の映像を、16:9またはそれ以上の時はアスペクト16:9の映像を表示します。
- ▶ 4:3:アスペクト 4:3で表示します。
- ▶ 16:9:アスペクト 16:9で表示します。(HDTVやDVDからの映像を表示するときに選びます)
- ▶ 16:10:アスペクト 16:10で表示します。
- ▶ ズーム: アスペクトを維持しながら、映像を1.3倍に表示します。

### サンプリング位相

◀ または ▶ で、画面の水平方向に表示するドット数をお使いのコンピューターの出力解像度に合わせて調整します。

### サンプリング周波数

◀ または ▶ で細かい線を表示したときの周期的な模様や、ちらつきをなくします。

# 各種設定のしかた

## 補足

❖ 「水平位置」と「垂直位置」機能は、コンピューター信号入力にのみ対応します。

## 水平位置

投写する映像の水平位置を調整します。

- ▶▶ で映像を左に移動させます。
- ▶◀ で映像を右に移動させます。

## 垂直位置

投写する映像の垂直位置を調整します。

- ▶◀ で映像を下に移動させます。
- ▶▶ で映像を上を移動させます。

## 台形補正

本体の傾きによって起こる台形歪みの補正ができます。



- ▶ 垂直台形補正: 垂直方向の台形補正を行います。
- ▶ 水平台形補正: 水平方向の台形補正を行います。
- ▶ 4点補正: 4つのコーナーを基点としたゆがみ補正を行います。
  - a. ◀ または ▶ で補正の基点とするコーナーを選択し決定キーを押して、サブメニューに入ります。



- b. ◀▶ または ▲▼ で調整を行います。
- ▶ リセット: 台形補正の設定を出荷時に戻します。(台形補正なし)。

# 各種設定のしかた

## 設置状態

プロジェクターの設置方法に合わせて投写モードを設定します。



- ▶ 標準: 工場出荷時の初期設定です。映像が画面に正立して投写されます。
- ▶ 天吊り: 映像の上下が反転して投写されます。天井に逆さに吊って設置するときを使用します。
- ▶ 背面: 映像の左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側に設置するときを使用します。
- ▶ 背面天吊り: 映像の上下左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側から天井に逆さに吊って設置するときを使用します。

## 詳細設定

表示の詳細設定を行います。

- ▶ RGB 入力レンジ

HDMI 映像信号入力レンジを選択します。



- 自動: RGB 入力レンジを自動的に検出します。
  - リミテッド: 標準的なHDMI 映像機器と接続するときを選びます。
  - フル: コンピューターからの信号や、フルレンジに設定された映像機器からの信号を入力するときを選びます。
- ▶ オーバースキャン

周辺部の画像を隠したい時に「入」に設定します。

- ▶ スタート画面

スタート時に表示される映像を選択します。

- ▶ 無信号背景

信号が検出されないときに表示する背景画を選択します。

- ▶ ロゴ: ロゴ
- ▶ 青: 青画面
- ▶ 黒: 黒画面

# 各種設定のしかた



## 初期設定

### 言語

メニューの表示言語を選択します。[決定]を押してサブメニューに入り、▲、▼、◀、▶ キーで言語を選択します。[決定]を押して選択を確定します。



### 自動入力検索

本機に入力されている信号を自動で検出します。「入」を選ぶと接続されている信号を自動で検出します。

### 入力信号

自動入力検索を行う入力を選択します。チェックを入れた入力を自動で入力を検出します。チェックを入れない入力は検出対象から外れます。あらかじめ接続していない入力のチェックを外すことで、自動入力検索の速度を向上できます。

# 各種設定のしかた



## 補足

❖ 「自動電源オフ (分)」のデフォルト値は20分です。

## 自動電源オフ (分)

本機に入力されている信号が無信号になってから自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。「0」を選ぶと無信号になっても電源は切れません。

## スタンバイ設定

### ▶ ネットワーク

スタンバイ時のネットワークコントロールのオン/オフを切り替えます。

- 入：スタンバイ時にモニター出力を使用できます。
- 切：スタンバイ時はモニター出力を使用できません。スタンバイ時の消費電力を低減できます。

### ▶ DC 5V 出力

USB-A 端子から DC 5V 出力を行います。

## ネットワーク

ネットワークコントロール設定を行います。設定に当たっては必ずネットワーク管理者の指示に従ってください。



- ▶ 状態: 状態を表示します。
- ▶ DHCP: DHCPのオン・オフを切り替えます。



# 各種設定のしかた

- ▶ IPアドレス、サブネットマスク：  
DHCPが「入」の時  
それぞれの値を表示します。  
DHCPが「切」の時  
[決定]キーを押して変更します。
- ▶ 適用: 「[DHCP・IPアドレス・サブネットマスクの設定を変更した値に設定します。 [決定]キーを押して設定します。」



- ▶ MAC アドレス: MAC アドレスの情報を表示します。

## セキュリティ

セキュリティ設定を行います。

- ▶ パスワード保護: セキュリティの入/切を選択します。[入]を選択すると電源ON時にパスワードの入力が必要になります。パスワードを入力してからパスワード保護の設定を行います。
- ▶ パスワードの変更: パスワードを変更します。

## リセット

調整と設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。「はい」を選択すると、全てのメニュー項目の設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。使用時間と言語は初期設定に戻りません。

LAN制御機能のパスワード等もリセットされます。リセット後必要に応じて再設定してください。



### 補足

❖ デフォルトのセキュリティコードは「12345678」です。

# 各種設定のしかた



## 音声

### ミュート

一時的にサウンドをオフにします。

- ▶ 入：音声をミュートします。
- ▶ 切：ミュートをオフにします。

### 音量

音量レベルを調整します。

- ▶ ◀ で音量を下げます。
- ▶ ▶ で音量を上げます。

# 各種設定のしかた



## オプション

### 補足

❖ 作動中に周囲温度が40°Cを超えると、プロジェクターは自動的に「エコ」に切り替わります。

### レーザーモード

レーザーの出力を変更できます。エコを選ぶと出力は低くなります。

### 高地モード

「入」を選択すると、冷却ファンの回転が速くなります。本機を標高1500m以上で使用する場合は、「入」を選択してください。

### 状態表示

「入」を選択すると、状態が表示されます。

### ダイレクト電源オン

入りにすると本機にAC電源が供給され本機の電源が入ります。切りにすると、AC電源を供給したあとに、電源ボタンを押すことで本機の電源が入ります。

### 制御



- ▶ プロジェクター ID: 本機にリモコン ID を設定します。プロジェクターが同時に数台設置されている場合は、リモコンコードを切り換えると他のリモコンの干渉を受けません。プロジェクター ID を設定したら、同じ ID のリモコン

# 各種設定のしかた

に切り換えると本機を操作できます。

- ▶ 制御チャンネル: 本機を制御する入出力を設定します。RS232/LAN・HDBaseTから設定します。

## 情報

プロジェクターの情報を表示します。

- ▶ 入力: 現在接続されている入力信号を表示します。
- ▶ 解像度: 入力信号の解像度を表示します。
- ▶ 映像モード: 映像モードを表示します。
- ▶ レーザーモード: レーザーモードを表示します。
- ▶ トータル時間: 使用時間を表示します。
- ▶ ファームウェアバージョン: 内部に使用されているソフトウェアのバージョンを表示します。

# 各種設定のしかた



## 3D

### 補足

❖ 3Dで鑑賞するには、互換性のある3D入力と3Dコンテンツ、光学3Dメガネが必要です。

❖ 「3D同期反転」は、3Dが有効になっている場合にのみ使用できます。

❖ この設定は、投影中の3Dムービーを再開する時には変更する必要があります。

❖ Blu-rayプレイヤーから3D信号入力があると、3D機能が自動的にオンになります。

### 3Dフォーマット

適切な3D映像フォーマットを選択します。

Blu-ray 3Dディスクを再生した場合は自動的に切り替わります。



- ▶ 自動: フォーマットを自動で切り替えます。
- ▶ サイドバイサイド: 「サイドバイサイド」フォーマットの3D映像を表示するモードです。
- ▶ トップアンドボトム: 「トップアンドボトム」フォーマットの3Dコンテンツに使用します。
- ▶ フレームシーケンシャル: 「フレームシーケンシャル」フォーマットの3D映像を表示するモードです。

### 3D同期反転

3D同期の反転機能の有効/無効を選択します。

- ▶ 切: 通常は「切」を選択します。
- ▶ 入: 表示された映像が不自然に見えたり、正しく立体に見えない場合に、「入」を選択します。

## ウェブブラウザで本機を制御する

RICOH PJ WUL5970 では、PCからウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。

### 本機へ接続する

#### 1. 本機のIPアドレスの確認

本機のメニューで「設定」→「ネットワーク」を選択し、IPアドレスを確認します。（「ネットワーク」50ページを参照）



#### 2. 接続する

ウェブブラウザを開き確認したIPアドレスを入力します。たとえば、上図のようにIPアドレスが表示された場合は <http://192.168.0.100/> と入力します。

## クレストロン

クレストロン制御を利用したプロジェクターのコントロールが使用できます。



### 補足

❖ プロジェクターがスタンバイモードの場合は、「電源」ボタンのみが機能します。

- ▶ Power：電源のオンオフを切り替えます。
- ▶ 入力リスト (SourceList)：入力表示と本機の入力端子と

の対応は以下になります。

- コンピューター
- HDBaseT
- HDMI1
- HDMI2/MHL

- ▶ そのほかのボタンについてはプロジェクターの制御 (Projector Control)と同様に動作します。

## クレストロン ツール (Crestron Tools)

プロジェクターのネットワークの設定とクレストロンルームビュー (Crestron Room View)の設定ができます。

### 補足

❖ ユーザーパスワードを設定した後は、Crestronページへのアクセスにパスワードの入力が要求されます。

❖ 管理者パスワードを有効にした場合、Crestron ツールのページへのアクセスに管理者パスワードの入力が要求されます。

## クレストロン 情報 (Crestron Info)

プロジェクターのファームウェアのバージョンや光源の状況についての情報を表示することができます。

### 補足

❖ Crestron は次の2種類のファイルを提供します。  
a) RoomViewExpress\_6\_3\_3\_7.exe  
b) Xpanel.exe

## プロジェクター管理ユーティリティ で本機を制御する

### プロジェクター管理ユーティリティについて

#### 補足

❖ このソフトウェアは、当社で製造したプロジェクターを制御および監視するためのものです。他のプロジェクターを制御するために使用した場合、ソフトウェアが正常に動作しない可能性があります。

プロジェクター管理ユーティリティはPJLink クラス1の規格に適合し、クラス1 のすべてのコマンドに対応しています。1台のパソコンで、ネットワークに接続しているプロジェクターを100台まで管理できます。

プロジェクター管理ユーティリティの動作環境は次のとおりです。

- 対応OS
  - Windows 7 (32bit /64bit版)
  - Windows 8 (32bit /64bit版)
  - Windows 8.1 (32bit /64bit版)
  - Windows 10 (32bit /64bit版)
  - Windows Server 2008 Standard SP2以降 (32bit /64bit版)
  - Windows Server 2008 R2 Standard SP1以降 (64bit版)
- メモリーサイズ
- 使用しているOS の推奨メモリーサイズに準拠
- 表示解像度  
800×600 ピクセル以上

### プロジェクター管理ユーティリティをインストールする

プロジェクター管理ユーティリティは付属のCD-ROM に格納されています。

ユーティリティをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログインしてください。

1. すべてのアプリケーションを閉じます。
2. CD-ROM をCD-ROM ドライブにセットしたあと、言語選択画面が表示されますので[X]をクリックしてウィンドウを閉じます。
3. CD-ROMのアイコンを右クリックして、[開く]を選びます。
4. CD-ROM内の“Projector Management Utility” フォルダを開きます。



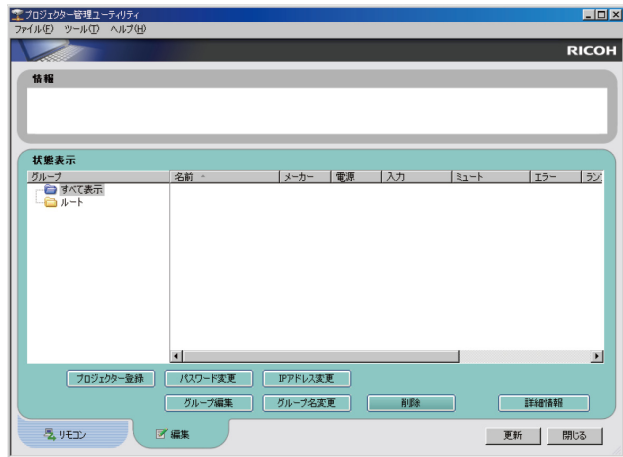
5. “Projector Management Utility” フォルダ内の setup.exe をダブルクリックします。
6. 画面の指示に従って、インストールを実行します。
7. インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。

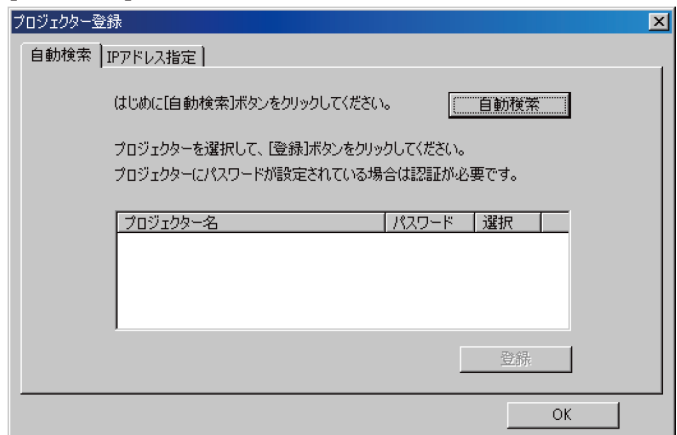
## プロジェクターを登録する

### 1. 自動検索でプロジェクターを登録する場合。

- [ プロジェクター登録 ] ボタンをクリックします。

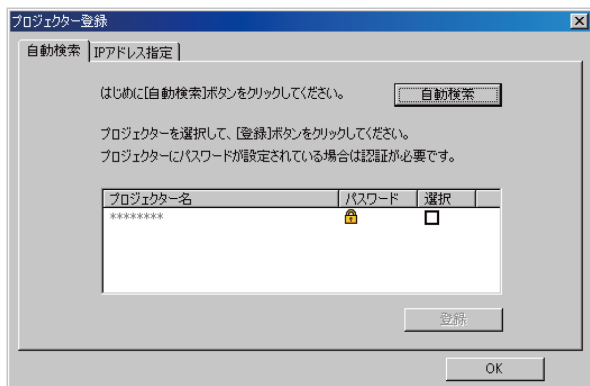


- [自動検索] ボタンをクリックします。

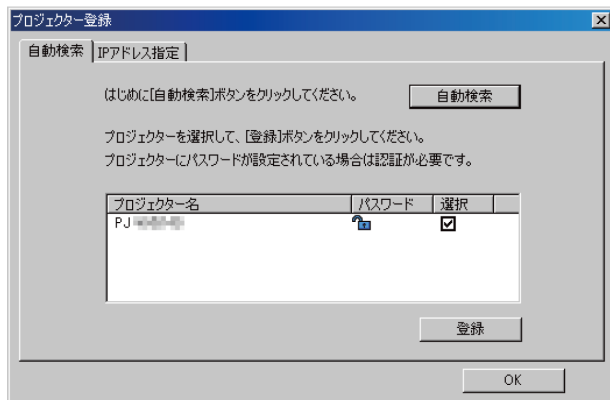


# LAN 制御機能

- ネットワーク内のPJLink 対応プロジェクターの一覧が表示されます。パスワードが設定されているプロジェクターは、認証されるまで「\*\*\*\*\*」と表示されます。



- コントロールしたいプロジェクターを選んで、[登録]ボタンをクリックします。パスワードが有効に設定されている場合は、パスワード認証が必要になります。



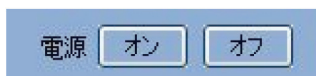
- [OK] ボタンをクリックしてもとの画面に戻ります。
- ## 2. IP アドレスを直接入力してプロジェクターを登録する場合
- プロジェクターのIP アドレスを入力して[確認]ボタンをクリックすると、プロジェクター名が表示されます。問題が無ければ[登録]ボタンをクリックしてください。プロジェクターが登録されます。

## プロジェクター管理ユーティリティでプロジェクターを制御する

プロジェクターを制御するには、「リモコン」タブを押してリモコン画面に切り替えます。一覧表示されている中から制御したいプロジェクター（/ グループ）を選び、画面下部のボタンで制御します。

### [電源] ボタン

プロジェクター(/ グループ) 一覧から選択したプロジェクターおよびグループの電源を「オン/ オフ」します。



### [入力切換] ボタン

プロジェクター(/ グループ) 一覧から選択したプロジェクターおよびグループの入力を切換えます。プロジェクターが指定された入力に対応していない場合は、入力は切換わりません。



本機のプロジェクター管理ユーティリティの入力表示と実際の入力信号の対応は以下のようになっています。

本機の入力名	プロジェクター管理ユーティリティ
コンピューター	コンピューター
HDMI1	HDMI
HDMI2/MHL	HDMI
HDBaseT	HDBaseT

# 故障かな・・・と思ったときは

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。症状が改善されないときは、販売店もしくはサービス実施店まで連絡してください。

## 症状：画面に映像が出ない

- ▶ すべてのケーブルや電源の接続に間違いがなく、「設置」の章で示されたようにしっかりと接続されているか確認します。
- ▶ コネクターのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。
- ▶ レンズキャップを外してあるか、本機の電源が入っているか確認します。
- ▶ [AVミュート] 機能が働いていないか確認します。
- ▶ [自動入力検索]が[切り]の場合、正しい入力先が選択されていることを確認します。

## 症状：映像が部分的に映る、スクロールするまたは正常に映らない

- ▶ リモコンの [Autoset] を押します。
- ▶ コンピューターの画面設定を開いて、表示解像度が1920x1200ドット以下に設定されていることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのヘルプファイルを参照してください。
- ▶ ノートパソコンを使用しているとき：
  1. 最初に、上記の手順に従ってコンピューターの解像度を調整します。
  2. トグル出力設定を押します。例：[Fn]+[F3]

PANASONIC, NEC => Fn+F3  
HP, SHARP, TOSHIBA => Fn+F5  
IBM, SONY => Fn+F7  
DELL, EPSON => Fn+F8  
FUJITSU => Fn+F10  
APPLE => F7

- ▶ 解像度の変更がうまくいかなかったり、モニターがフリーズしたりするときは、本機を含めたすべての機器を再起動します。

# 故障かな・・・と思ったときは

## 症状：ノートパソコンの画面が表示されない

- ▶ ノートパソコンを使用している場合：  
製品によっては、外部出力を接続すると内蔵画面がオフになるものがあります。再度オンにする方法は、製品によって異なります。詳細については、お使いのコンピューターのマニュアルを参照してください。

## 症状：映像が安定しない、またはちらつく

- ▶ 「サンプリング位相」または「サンプリング周波数」を適切な値に調整します。詳細については、「水平位置」または「垂直位置」を参照してください。
- ▶ コンピューターの表示モードを確認して再設定します。本機と互換性のあるモードを選んでください。

## 症状：映像のピントが合わない

- ▶ フォーカスリングを調整してください。（39 ページを参照）
- ▶ スクリーンまでの距離が所要の範囲内であることを確認します。（41 ページを参照）

## 症状：DVD を表示するとき映像が引き伸ばされる

リモコンの[アスペクト]を押すか、メニューの「スクリーン」→「アスペクト比」を選択して、映像が適切なアスペクト比で表示されるよう調整します。

## 症状：映像が小さすぎる、または大きすぎる



- ▶ 本機上部のズームレバーを調整します。
- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。
- ▶ リモコンの[アスペクト]を押すか、本機の操作部にある「メニュー」ボタンを押してメニューを開き、「表示設定」→「アスペクト比」で別の設定を試します。

# 故障かな・・・と思ったときは

## 症状：映像が反転する

- ▶ メニューの「表示設定」→「設置状態」で、映像の表示方法を選択します

### 補足

点灯 =>   
消灯 => 

## 症状：インジケータの点灯によるメッセージ

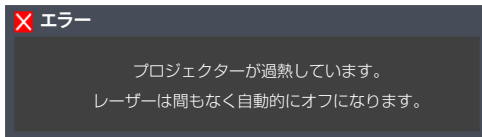
状態	Power インジケータ			Temp インジケータ		Lamp インジケータ	
	(赤)	(緑)	(オレンジ)	(赤)	(緑)	(赤)	(緑)
<b>通常動作</b>							
スタンバイ							
起動中		点滅 (0.5秒)					
通常 (電源オン)							
冷却中			点滅 (0.5秒)				
<b>警告</b>							
カラーホイール エラー							
蛍光体ホイール エラー						点滅 (0.5秒)	
スケーラーエ ラー	点滅 (0.5秒)						
光源エラー							
光源が点灯し ない						点滅 (0.5秒)	
ファン1エラー							
ファン2エラー				点滅 (0.5秒)			
ファン3エラー							
ファン4エラー					点滅 (0.5秒)		
ファン5エラー	点滅 (0.5秒)						
ファン6エラー	点滅 (0.5秒)			点滅 (0.5秒)			
ファン7エラー	点滅 (0.5秒)						
ファン8エラー	点滅 (0.5秒)				点滅 (0.5秒)		

# 故障かな・・・と思ったらときは

状態	Power インジケータ			Temp インジケータ		Lamp インジケータ	
	(赤)	(緑)	(オレンジ)	(赤)	(緑)	(赤)	(緑)
温度エラー	⊗	☀	⊗	☀	⊗	⊗	⊗

## 症状：メッセージリマインダーについて

- ▶ 温度エラー - プロジェクター内部が過熱しています。環境条件を確認してください。



## 対応信号の一覧表

A. VGA アナログ			
(1) VGA アナログ - PC 信号			
モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
720 x 400_70	720 x 400	70.1	31.5
VGA_60	640 x 480	59.9	31.5
VGA_72		72.8	37.9
VGA_75		75.0	37.5
VGA_85		85.0	43.3
SVGA_60	800 x 600	60.3	37.9
SVGA_72		72.2	48.1
SVGA_75		75.0	46.9
SVGA_85		85.1	53.7
SVGA_120 (Reduce Blanking)		119.9	77.4
XGA_60	1024 x 768	60.0	48.4
XGA_70		70.1	56.5
XGA_75		75.0	60.0
XGA_85		85.0	68.7
XGA_120 (Reduce Blanking)		120.0	97.6
1152 x 864_75	1152 x 864	75.0	67.5
1280 x 720_60	1280 x 720	60.0	45.0
1280 x 720_120		120.0	90.0
1280 x 768_60 (Reduce Blanking)	1280 x 768	60.0	47.4
1280 x 768_60		59.9	47.8
WXGA_60	1280 x 800	59.8	49.7
WXGA_75		74.9	62.8
WXGA_85		84.9	71.6
WXGA_120 (Reduce Blanking)		119.9	101.6
SXGA_60	1280 x 1024	60.0	64.0
SXGA_75		75.0	80.0
SXGA_85		85.0	91.1



A. VGA アナログ			
(1) VGA アナログ - PC 信号			
モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
1280 x 960_60	1280 x 960	60.0	60.0
1280 x 960_85		85.0	85.9
1360 x 768_60	1360 x 768	60.0	47.7
WXGA+_60 (Reduce Blanking)	1440 x 900	60.0	55.5
WXGA+_60		59.9	55.9
SXGA+_60	1400 x 1050	60.0	65.3
UXGA	1600 x 1200	60.0	75.0
1680 x 1050_60 (Reduce Blanking)	1680 x 1050	59.9	64.7
1680 x 1050_60		60.0	65.3
MAC13	640 x 480@67Hz	66.7	35.0
MAC16	832 x 624@75Hz	74.5	49.7
MAC19	1024 x 768@75Hz	74.9	60.2
MAC21	1152 x 870@75Hz	75.1	68.7
1920 x 1080_60 (Reduce Blanking)	1920 x 1080@60Hz	60.0	67.5
1920 x 1200_60 (Reduce Blanking)	1920 x 1200@60Hz	60.0	74.0
(2) VGA アナログ - ビデオ信号			
480i	720 x 480	15.73	59.94
480p	720 x 480	31.47	59.94
576i	720 x 576	15.63	50
576p	720 x 576	31.25	50
720/50p	1280 x 720	37.5	50
720/60p	1280 x 720	45	60
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60

B. HDMI			
(1) HDMI - PC 信号			
モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VGA_60	640 x 480	59.9	31.5
VGA_72		72.8	37.9
VGA_75		75.0	37.5
VGA_85		85.0	43.3
720 x 400_70	720 x 400	70.1	31.5
SVGA_60	800 x 600	60.3	37.9
SVGA_72		72.2	48.1
SVGA_75		75.0	46.9
SVGA_85		85.1	53.7
SVGA_120 (Reduce Blanking)		119.9	77.4
XGA_60	1024 x 768	60.0	48.4
XGA_70		70.1	56.5
XGA_75		75.0	60.0
XGA_85		85.0	68.7
XGA_120 (Reduce Blanking)		120.0	97.6
1152 x 864_75	1152 x 864	75.0	67.5
1280 x 720_60	1280 x 720	60.0	45.0
1280 x 720_120		120.0	90.0
1280 x 768_60 (Reduce Blanking)	1280 x 768	60.0	47.4
1280 x 768_60		59.9	47.8
WXGA_60	1280 x 800	59.8	49.7
WXGA_75		74.9	62.8
WXGA_85		84.9	71.6
WXGA_120 (Reduce Blanking)		119.9	101.6
SXGA_60	1280 x 1024	60.0	64.0
SXGA_75		75.0	80.0
SXGA_85		85.0	91.1
1280 x 960_60	1280 x 960	60.0	60.0
1280 x 960_85		85.0	85.9
1360 x 768_60	1360 x 768	60.0	47.7

B. HDMI			
(1) HDMI - PC 信号			
モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
WXGA+_60 (Reduce Blanking)	1440 x 900	60.0	55.5
WXGA+_60		59.9	55.9
SXGA+_60	1400 x 1050	60.0	65.3
UXGA	1600 x 1200	60.0	75.0
1680 x 1050_60 (Reduce Blanking)	1680 x 1050	59.9	64.7
1680 x 1050_60		60.0	65.3
MAC13	640 x 480 @67Hz	66.7	35.0
MAC16	832 x 624 @75Hz	74.5	49.7
MAC19	1024 x 768 @75Hz	75.0	60.2
MAC21	1152 x 870 @75Hz	75.1	68.7
1920 x 1080_60 (Reduce Blanking)	1920 x 1080 @60Hz	60.0	67.5
1920x1200_60 (Reduce Blanking)	1920 x 1200 @60Hz	60.0	74.0
1920 x 1080_60	1920 x 1080(VESA)	60.0	67.2
(2) HDMI - ビデオ信号			
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94
480p	720 x 480	31.47	59.94
576i	720(1440) x 576	15.63	50
576p	720 x 576	31.25	50
720/50p	1280 x 720	37.5	50
720/60p	1280 x 720	45	60
1080/24P	1920 x 1080	27	24
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30
1080/50i*	1920 x 1080	28.13	50
1080/60i*	1920 x 1080	33.75	60
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60

## 補足

\*サイドバイサイド  
フォーマットの3D  
信号に対応するタイ  
ミング。

C. HDBaseT			
ケーブルタイプ	ケーブル範囲	ピクセルレート	HDMI フォーマット
CAT 5E/ CAT 6A	100m	<=225MHz	640 x 480p/60Hz 4:3
			720 x 480p/60Hz 4:3
			720 x 480p/60Hz 16:9
			1280 x 720p/60Hz 16:9
			1920 x 1080i/60Hz 16:9
			1440 x 480i/60Hz 4:3
			1920 x 1080p/60Hz 16:9
			720 x 576p/50Hz 4:3
			1280 x 720p/50Hz 16:9
			1920 x 1080i/50Hz 16:9
			1440 x 576i/50Hz 4:3
1920 x 1080p/50Hz 16:9			

## 端子の形態

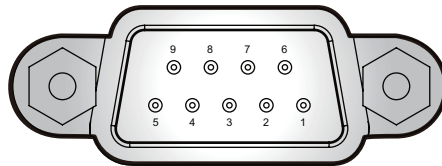
### 端子：コンピューター入力（Mini D-sub 15ピン）[モニター出力]



1	赤 (R/Cr) 入力 [R 出力]	9	DDC 5V [NC*]
2	緑 (G/Y) 入力 [G 出力]	10	接地 (垂直同期)
3	青 (B/Cb) 入力 [B 出力]	11	NC*
4	NC*	12	DDC データ [NC*]
5	接地 (水平同期)	13	水平同期入力 [出力] (コンポジット HV 同期入力)
6	接地 (赤)		
7	接地 (緑)		
8	接地 (青)	14	垂直同期入力 [出力]
		15	DDC CLK [NC*]

\* 何も接続しないでください。

### 端子：PC 制御（D-sub 9ピン）（オス）



1	NC*	6	NC*
2	RXD (データ受信)	7	NC*
3	TXD (データ送信)	8	NC*
4	NC*	9	NC*
5	GND	* 何も接続しないでください。	

#### 補足

❖ 制御ケーブルとコマンドについては、販売店にお問い合わせください。

## 仕様

### 一般仕様の一覧表

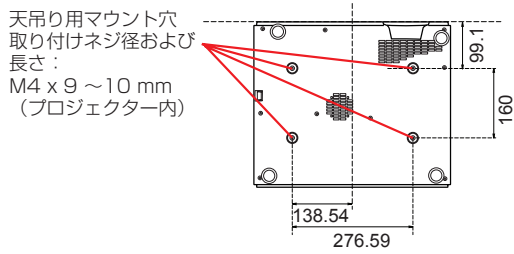
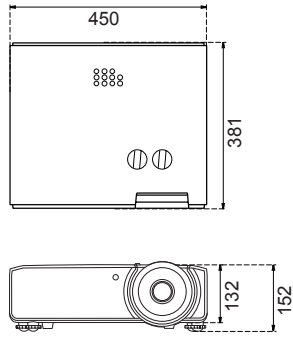
項目	PJ WUL5970
DLP チップ	0.48" WUXGA
光源	レーザー
投写レンズ	F = 1.81 - 2.1、f = 14.3 mm - 22.9 mm、 1:1.6 手動ズームおよび手動フォーカス
投写距離	1.75 - 9.34 m
スローレシオ (距離 / 幅)	1.36 - 2.18 (87 型 @ 2.54 m)
寸法 (幅×奥行き×高さ)	450 x 381 x 132 mm (突起部分を除く) 450 x 381 x 162 mm (突起部分を含む/レンズシフト最大時)
質量	約7.8 kg
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HDMI1 入力</li> <li>• HDMI2/MHL 入力</li> <li>• コンピューター入力 (D-sub 15 ピン)</li> <li>• モニター出力 (D-sub 15 ピン)</li> <li>• PC 制御 (RS232C、D-sub 9 ピン)</li> <li>• LAN (RJ-45)</li> <li>• 5V/2A (USB タイプ A)</li> <li>• サービス (Mini-USB)</li> <li>• HDBaseT (RJ-45)</li> <li>• 音声入力 (3.5 mm モノラルミニジャック)</li> <li>• 音声出力 (3.5 mm モノラルミニジャック)</li> </ul>
光源寿命	20,000時間
スピーカー	10W x 1
騒音	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準モード：37 dB (A)</li> <li>• エコモード：35 dB (A)</li> </ul>
動作/保管環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動作温度：0° ~ 40° C、最大湿度 90% (結露なし)</li> <li>• 保管温度：-10° ~ 65° C、最大湿度 90% (結露なし)</li> </ul>
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エコモード：350W</li> <li>• 標準モード：470W</li> </ul>
待機電力 (モニター出力 オフ)	0.4W 以下

### 補足

- 本機は上記の仕様に準拠しています。
- 設計、仕様などは予告なく変更することがあります。
- 本機は新しく追加された機能および/または仕様に対応しないことがあります。

## 外形寸法

単位：mm



天吊り用マウント穴  
取り付けネジ径および  
長さ：  
M4 x 9 ~ 10 mm  
(プロジェクター内)

## 商標

- DLP は、Texas Instruments の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、および PowerPoint は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing Administrator, Inc の商標または登録商標です。



- MHL、Mobile High-Definition Link、および MHL ロゴ は、MHL, LLC の商標または登録商標です。
- Blu-ray は Blu-ray Association の商標です。
- HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴ は、HDBaseT Alliance の商標です。
- 本ユーザーズマニュアルに記載されているその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。





## ■ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

## ■ 保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。

したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

## ■ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。

修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の最寄りの販売担当者をご紹介します。

## ■ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「リコーテクニカルコールセンター」にお問い合わせください。

0120-892-111 イデイチイデ

●受付時間:平日(月～金)9時～17時(土日、祝祭日、弊社休業日を除く)

●お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問合せの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/contact/index.html>